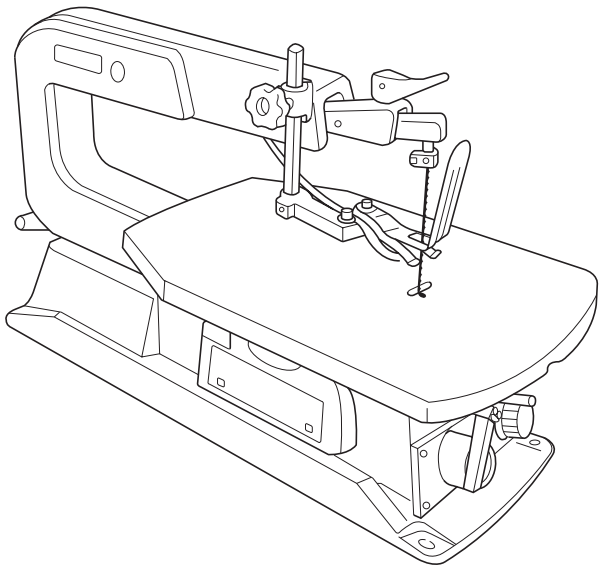
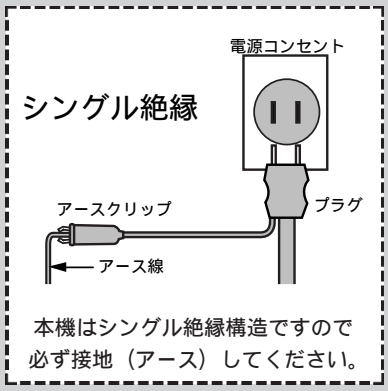
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために ……

取扱説明書

糸ノコ盤

モデル MSJ401





本機はシングル絶縁構造ですので
必ず接地（アース）してください。

このたびは**糸ノコ盤**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能 ＼ モデル	MSJ401
電　動　機	直巻整流子電動機
電　圧	単相100ボルト
電　流	1.5アンペア
周　波　数	50-60ヘルツ
消　費　電　力	50ワット
ストローク	18mm
ストローク数	毎分400～1,600回
重　量	14kg
フトコロ（奥行）寸法	406mm
テーブル寸法	235mmx370mm
切断能力	軟木50mm
機体寸法	長さ600mmx幅290mmx高さ330mm

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の⚠警告・⚠注意・注の意味について

ご使用上の注意事項は⚠警告と⚠注意. 注に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

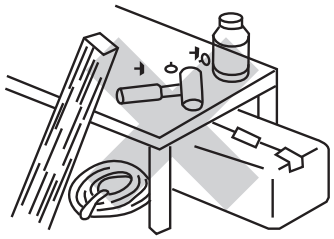
安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

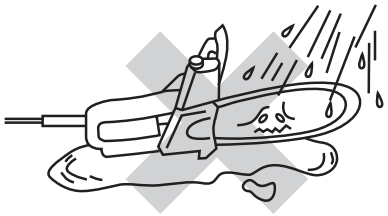
⚠警告

1.ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2.作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

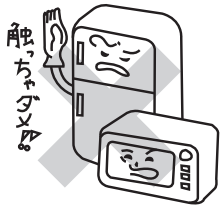


3.作業場の周囲状況も考慮してください。
・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
・作業場は十分に明るくしてください。



・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

4.感電に注意してください。
・電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



⚠警告

5.子供を近づけないでください。

・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

6.使用しない場合は、きちんと保管してください。

・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7.無理して使用しないでください。

・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8.作業に合った電動工具を使用してください。

・小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

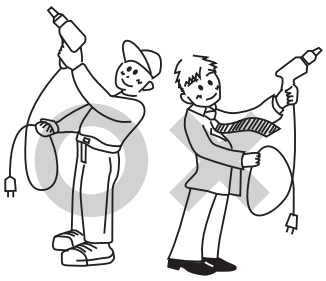
・指定された用途以外に使用しないでください。

9.きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。

・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



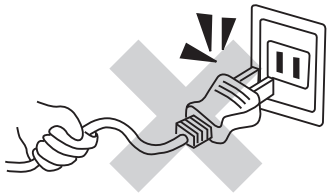
10.保護めがねを使用してください。

・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11.コードを乱暴に扱わないでください。

・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。

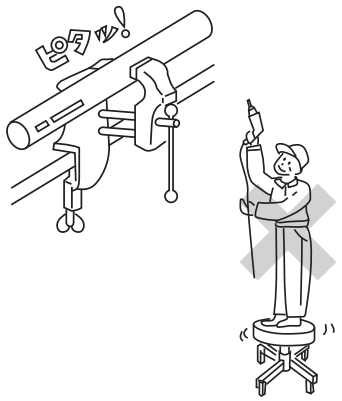
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠警告

12.加工する物をしっかりと固定してください。

・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



13.無理な姿勢で作業しないでください。

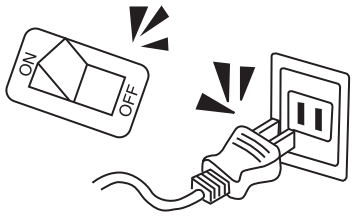
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

14.電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15.次の場合は、電動工具のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

・使用しない、または、修理する場合。
・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。



16.調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

17.不意な始動は避けてください。

・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

18.屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

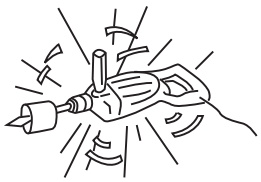
⚠警告

19.油断しないで十分注意して作業を行なってください。

・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。
・疲れている場合は、使用しないでください。

20.損傷した部品がないか点検してください。

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。



・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

21.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

22.電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

糸ノコ盤安全上のご注意

●先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、糸ノコ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

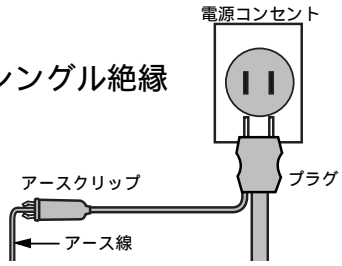
1.必ず接地（アース）してください。

・故障や漏電のときに感電する原因になります。

・接地はプラグの横からでているアースクリップをアース線に接続してください。

・アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。

テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップと機械本体の金属部（外郭部）間の導通を確認してください。



・アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。

・接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。

・漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

※労働安全衛生規則　第333条・第334条

電気設備の技術基準　第18条・第28条・第41条

2.アース線をガス管に接続しないでください。

・爆発の恐れがあります。

3.つなぎコードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。

・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

4.使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

5.不意に滑った場合に、手が糸ノコ刃に巻き込まれる恐れのあるような危険な位置に手を置かないでください。

6.使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。

7.誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

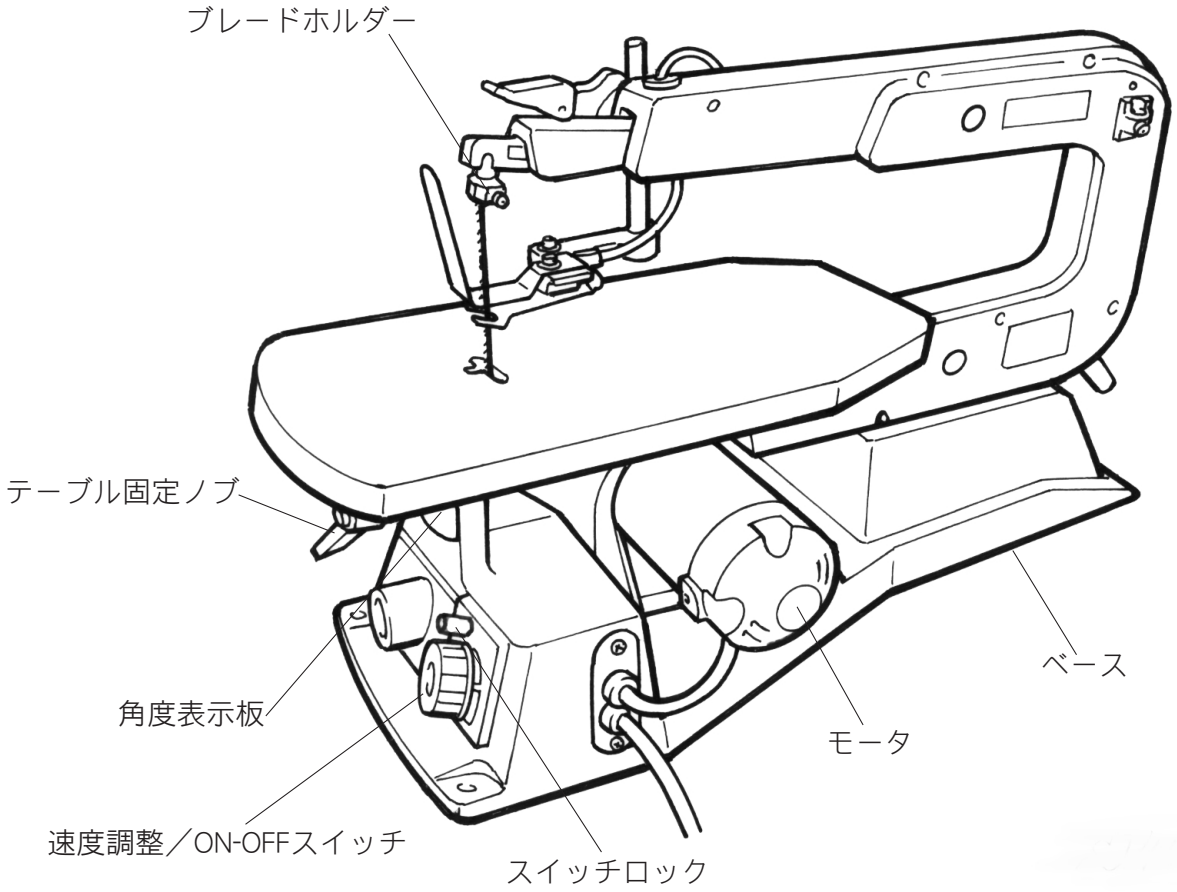
⚠警告

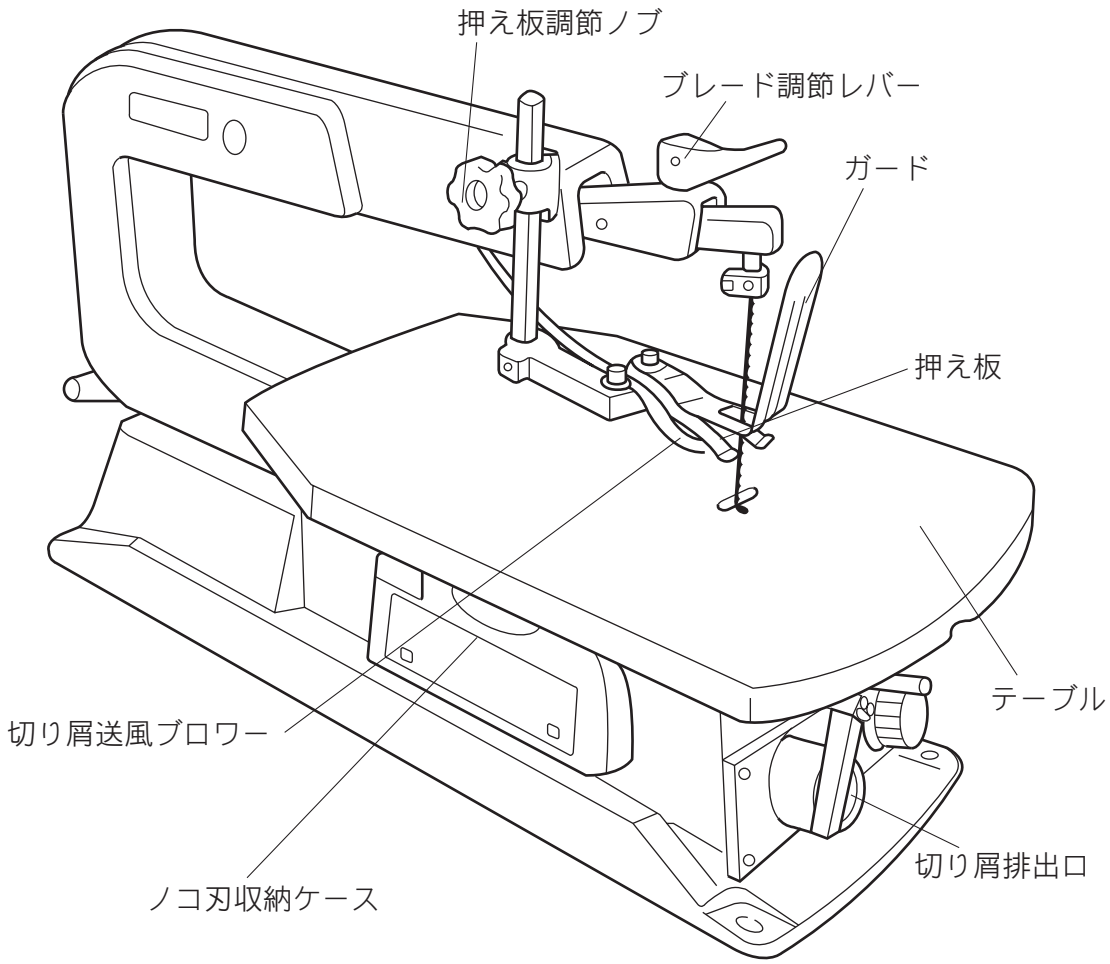
8.平たんで、安定した場所に本機を据え付けてご使用ください。
・不安定な状態だと、けがの原因になります。
9.運転させたまま、放置しないでください。
・事故やけがの原因になります。
10.材料をしっかりと確実に保持して作業してください。
・確実でないとけがの原因になります。

⚠注意

1.ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・確実でないと、はずしたりして、けがの原因になります。
2.ノコ刃および取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
・ブレードがはずれたり、折れたりして、けがの原因になります。
3.使用中は、ノコ刃や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。
4.作業直後の、ノコ刃は高温となっていますので触れないでください。
・やけどの原因になります。
5.ノコ刃でコードを切断しないように注意してください。
・感電の原因になります。
6.ノコ刃は必ず刃が下向きになるように取り付けてください。また、材料に適したノコ刃を使用してください。
・けがの原因になります。
7.切断中、材料を急に回したり、無理に押しつけないでください。
・ブレードが折れたりして、けがの原因になります。
8.材料の厚さに合わせて、常に板押え板の高さを正しく調整してください。
・材料がバタついたりし、けがの原因になります。

各部の名称


ブレードホルダー
テーブル固定ノブ
角度表示板
速度調整／ON-OFFスイッチ
スイッチロック
モータ
ベース


押え板調節ノブ
ブレード調節レバー
ガード
押え板
テーブル
切り屑送風ブロワー
切り屑排出口
ノコ刃収納ケース

標準付属品

標準付属品

・ノコ刃交換用固定棒　　・六角棒レンチ３・４（各１本）

・糸ノコ刃（60山、厚み0.46mm、幅2.5mm）　６本入

別販売品のご紹介

品　　名	部品番号 (5本入)	厚み	幅	用　　途
糸ノコ刃（60山）	A-31099	0.46mm	2.5mm	直線切りをはじめ、大きな曲線切りに最適です 硬質・軟質の木材 合板・プラスチックの切断
糸ノコ刃（70山）	A-31108	0.25mm	1.8mm	小さな円弧や、曲線切りに最適です 硬質・軟質の木材 薄物木材(3mm～12mm) 合板・プラスチックの仕上切断

組み立て及び調整

作業台への糸ノコ盤の取り付け

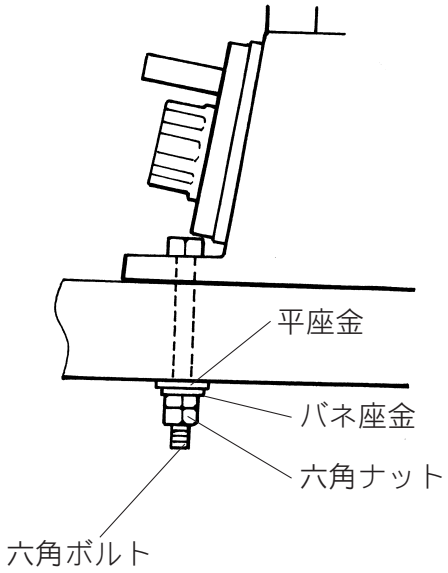
⚠警告

糸ノコ盤の電源を切り、プラグを抜いてから、調節を行ってください。

1.本機は作動中、上下振動を起こしますので頑丈で堅い作業台に固定されることをお勧めします。
2.この糸ノコ盤を作業台に取り付けるための金物類は、この糸ノコ盤に付属していません。しかし、ご使用になれられる金物類は、少なくとも次の基準を下まわらないようにすることをお勧めします。

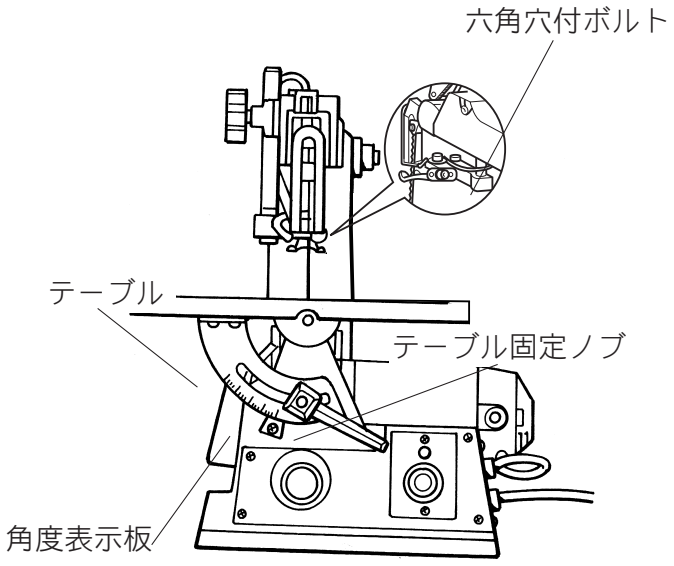
数量　品目
3　六角ボルト　M8
3　平座金 8
3　ばね座金 8
6　六角ナット M8

この糸ノコ盤を作業台に取り付けた例です。



水平または傾斜切断用のテーブル設定

1.テーブル固定ノブを緩めれば、水平切断位置の0度から傾斜切断用の左傾斜45度、右傾斜15度まで、どんな角度にでも糸ノコ盤テーブルを傾けて、固定することができます。
2.傾斜切断用のおおよそのテーブル角度を設定する際の目安となるよう、作業テーブルの下に角度表示板が貼付されています。より高精度が要求される場合は、試験切断を行って、必要に応じてテーブルの調整を行ってください。



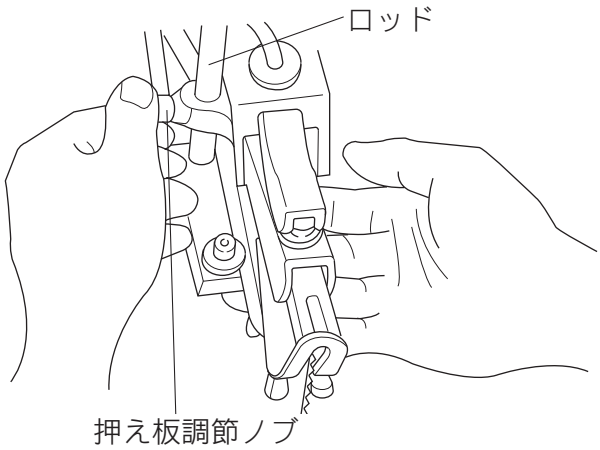
注

・いろいろな角度で切断を行う場合は、押え板をテーブルに対して水平に、かつ切断材料にぴったり配置されるように傾けることができます。押え板を傾けるには、六角穴付ネジを緩めて、テーブルと水平になるように傾け、ボルトをしっかりと締めてください。

組み立て及び調整

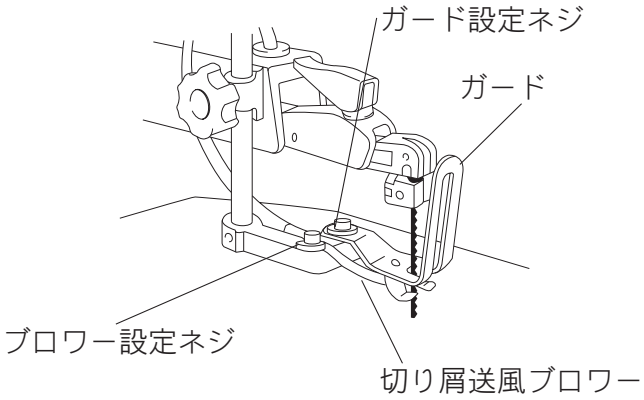
押え板の調整

押え板調節ノブを緩め、ロッドを上下に動かして、切断される材料の上面に押え板が接触するように、調整してください。調整を終えたら調節ノブを締めてください。



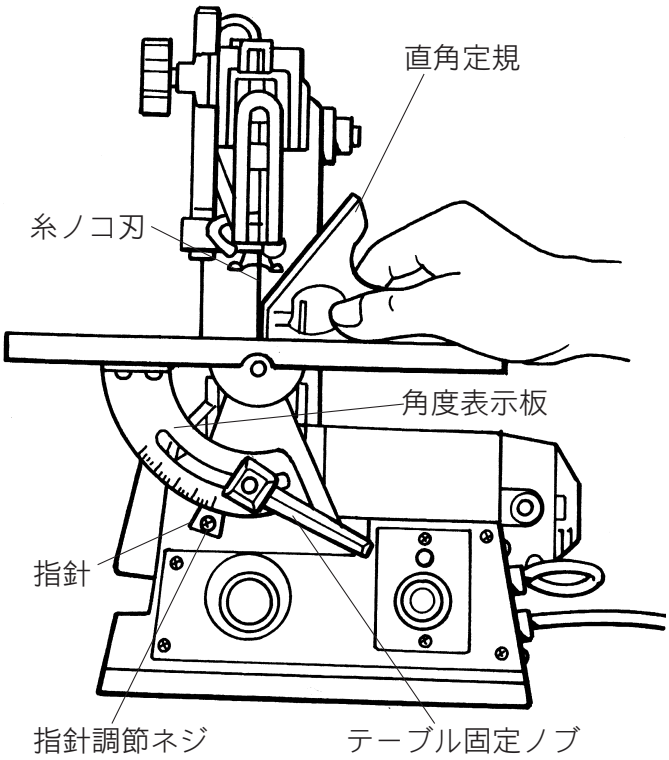
切り屑送風ブロワーの調整

切り屑送風ブロワーは、ネジを緩め、切断線上の最も効果的な位置に空気を送れるように移動することができます。切り屑送風ブロワーの位置を少しずつ調整して、ネジを締めてください。



角度表示板の調整

1.押え板調節ノブを緩めロッドを上に移動してください。
2.テーブル固定ノブを緩め、テーブルを移動して、テーブルが糸ノコ刃に対してほぼ直角になるようにしてください。
3.テーブルが糸ノコ刃に対して90度になっているかどうかを確認するために、テーブル上の糸ノコ刃の横に小さな直角定規を置いてください。調整が必要な場合は、テーブルが糸ノコ刃に対してほぼ90度になるまでテーブルを上下に動かし、テーブル固定ノブをしっかりと締めてください。



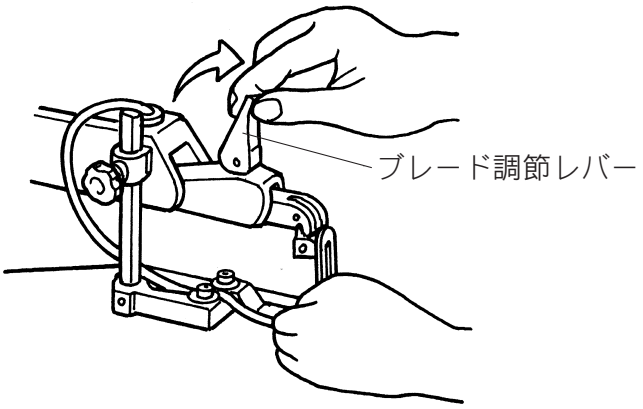
4.指針を押えているネジを緩め、指針を0度の目盛に合わせ、ネジをしっかりと締めてください。角度表示板は便利な目安とはなりますが、高精度な加工には使用できません。木の切れ端で試験切断を行って、角度設定が適切かどうか確かめてください。

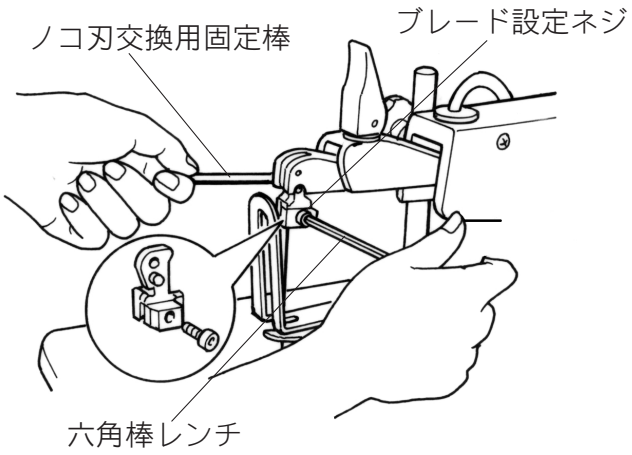
糸ノコ刃（ピン・エンドタイプ）の取り付け方

⚠警告

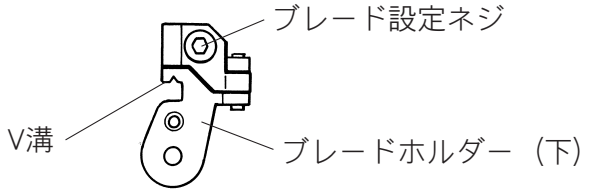
糸ノコ刃の取り付けや、交換、移動は、予期せぬ怪我を防止するために、必ず糸ノコ盤のプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

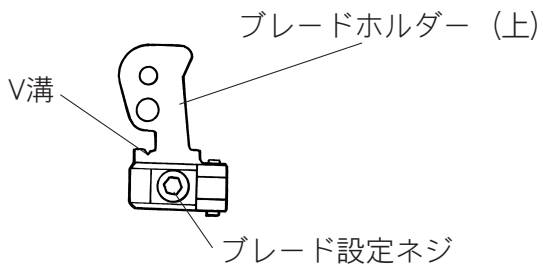
1.プラグをコンセントから抜いてください。
2.ブレード調節レバーを垂直位置にして、糸ノコ刃を取り付けます。





3.テーブルの挿入口から糸ノコ刃を下のブレードホルダーに刃が下を向くようにして、ピンを下のブレードホルダーのV溝に取り付けてください。
4.六角棒レンチを使用してブレード設定ネジを締め付けてください。
5.同じ手順で、糸ノコ刃を上のブレードホルダーのV溝に取り付けてください。ノコ刃交換用固定棒を穴に差し込み、六角棒レンチを使用してブレード設定ネジを締め付けてください。
6.ブレード調節レバーを水平位置に下ろして、張りを持たせてください。



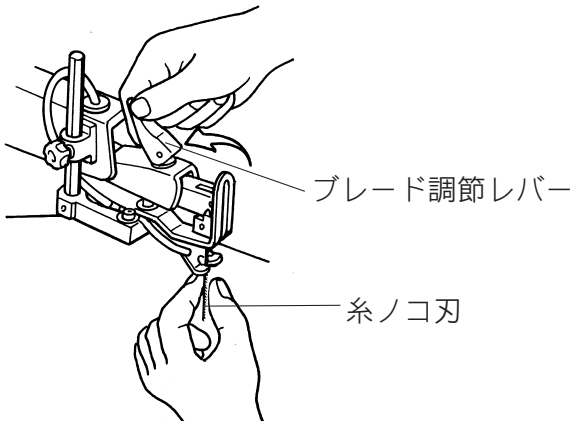


注

・糸ノコ刃は刃が下向きになるように取り付けてください。

組み立て及び調整

7.必要に応じて、糸ノコ刃に張りが出るまでブレード調節レバーを時計回りに回転してください。

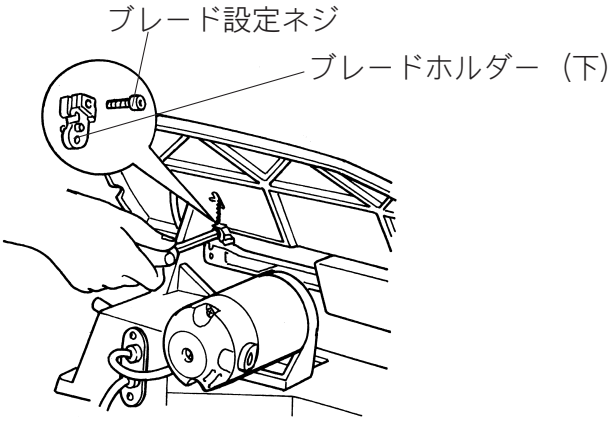


糸ノコ刃（ピン・エンドタイプ）の取り外し方

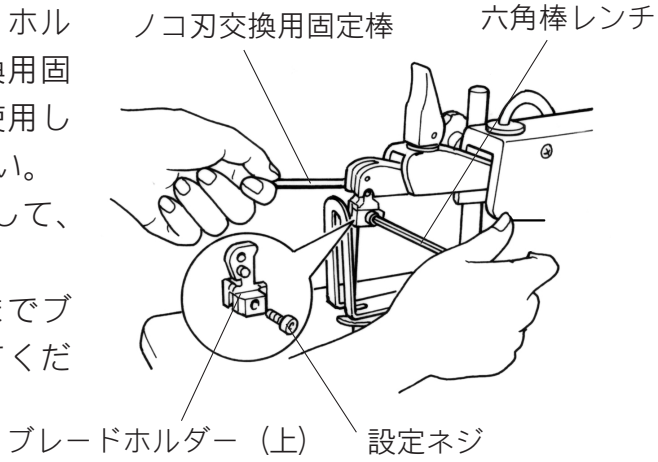
・取りはずしは、取り付け方の逆の手順で行ってください。

糸ノコ刃（ピンナシ）の取り付け方（市販品120～130mm）

1.プラグをコンセントから抜いてください。
2.ブレード調節レバーを垂直位置にして糸ノコ刃を取り付けます。
3.テーブルの挿入口から下のブレードホルダーに新しい糸ノコ刃を取り付けてください。下のブレードホルダーに糸ノコ刃の下の端を置きます。
4.六角棒レンチを使用してブレード設定ネジを締めてください。



5.同じ手順で、糸ノコ刃を上のブレード・ホルダーに取り付けてください。ノコ刃交換用固定棒を穴に差し込み、六角棒レンチを使用してブレード設定ネジを締め付けてください。
6.ブレード調節レバーを水平位置に下ろして、張りを持たせてください。
7.必要に応じて、糸ノコ刃に張りが出るまでブレード調節レバーを時計回りに回転してください。



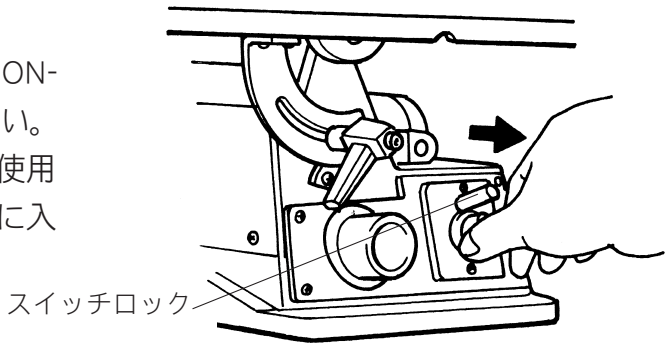
糸ノコ刃（ピンナシ）の取り外し方

・取りはずしは、取り付け方の逆の手順で行ってください。

組み立て及び調整

速度調整／ON-OFFスイッチ

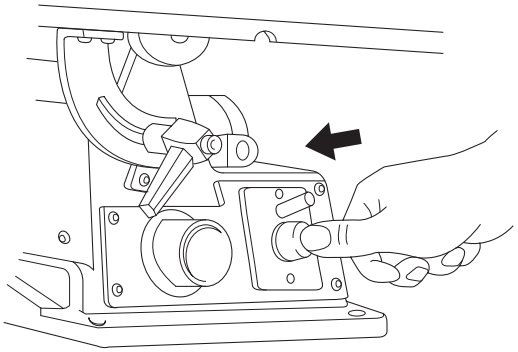
1.スイッチを"ON"にするには、速度調整/ON-OFFスイッチを、指で引っぱり出してください。
2.スイッチロックにノコ刃交換用固定棒を未使用時に差し込んでおくと、スイッチが不用意に入らなくすることもできます。



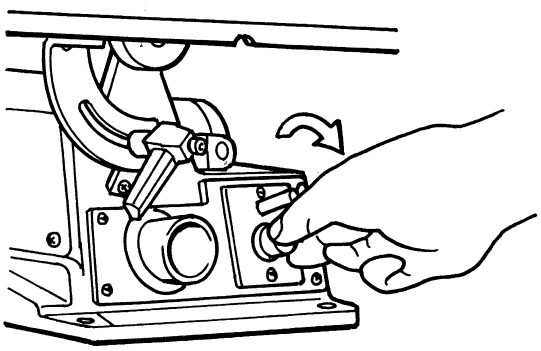
注

・スイッチを"ON"にしても糸ノコ刃がすぐには始動しませんが、それが正常な状態で、故障等ではありません。
・スイッチロックは回転しますので、ノコ刃交換用固定棒がスイッチにあたる位置に差し込んでください。

3.スイッチを"OFF"にするには、速度調整/ON-OFFスイッチを押してください。本機が完全に停止するまで、本機から離れないようにしてください。



4.本機は、用途に合わせ速度を変えることができます。速度調整スイッチを時計方向（◠）に回せば1分当たりのストローク数が増加し、反時計方向（◠）に回せば1分当たりのストローク数が減少します。



注

・本機は過負荷プロテクターを内蔵しています。（糸ノコ刃に無理な力がかかるとモータ保護のため瞬時にモータが止まります。）
内部過負荷プロテクターが停止した場合は、「ON/OFFスイッチ」を押して"OFF"にすれば、プロテクターが解除されます。
本機のプラグをコンセントから抜き、ノコ刃付近の切断材料を取り除いて再始動してください。

使い方

糸ノコ盤の基本操作

糸ノコ盤に関する次の事項をお読みになり、理解された上で、糸ノコ盤をご使用ください。

1.切断木材を糸ノコ刃へと送り出しながら、糸ノコ盤でその木材を切断します。

2.ノコ刃が下向きに移動する場合にのみ、糸ノコ刃の刃が木材を切断します。

3.糸ノコ刃の刃は非常に細かく、かつ糸ノコ刃が下向きに移動している場合にのみ木材を切り取るため、材料をゆっくり糸ノコ刃に押し当ててください。

4.材料の送りが速すぎたり、無理にこじたりすると糸ノコ刃が折れますので注意してください。

5.厚さ25mm以下の木材を切断する場合に、最善の仕上がりが得られます。

6.厚さ25mmを超える木材を切断する場合は、木材を極力ゆっくりと糸ノコ刃に押し当てて、切断中に糸ノコ刃が曲がったり、ねじれたりしないように細心の注意を払ってください。

7.糸ノコ刃の刃は磨耗するため、切断を最善に仕上げるには適度に交換してください。糸ノコ刃は一般に、30分～2時間の切断に対して良好な状態を維持できます。

8.正確な切断を行うには、切断中に糸ノコ刃が木材の木目に沿う傾向があるため、それを補正するように心掛けてください。

9.この糸ノコ盤は、木材及び木材に似た材料の切断を目的としています。

10.糸ノコ盤に使用される糸ノコ刃を選定するにあたって、次の点を十分に考慮に入れてください。

・厚さ6mm以下の薄物の木材の切断には、刃数の多い（70山）幅の狭い糸ノコ刃が適しています。

・厚さ6mm以上の木材を切断するには、刃数の少ない（60山以下）幅の広い糸ノコ刃が適しています。

・比較的幅の広い糸ノコ刃は、大きな曲線の切断、厚物の木材の切断に適しています。

・比較的幅の狭い糸ノコ刃は、小さな曲線の切断、薄物の木材の切断に適しています。

11.この糸ノコ盤は、120～130mmのピン付糸ノコ刃及びピンナシ糸ノコ刃が使用できます。

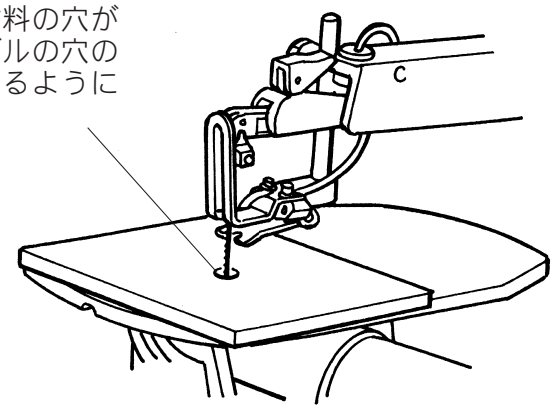
12.合板（非常に研磨性が高い）を切断する場合や、厚さ20mmを超える木材を切断する場合、硬い木材を切断する場合、あるいは糸ノコ刃の片側に圧力が加わる場合に、糸ノコ刃の磨耗が速く進みます。

中抜き

1.この糸ノコ盤の特徴の1つは、この糸ノコ盤を使用して、板の外郭に切れ目を入れずに、板の内側を切り抜くことができます。

⚠警告

・糸ノコ刃の取り外しや交換は、偶発的な始動に伴う怪我を防止するために、必ず速度調整／ON-OFFスイッチを押して"OFF"にし、プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



使い方

2.板の内側を中抜きするには、まずはじめに、糸ノコ刃を取り外してください。
3.中抜きする板にドリルで約6mmの穴をあけます。
4.あけた穴が糸ノコ盤テーブルの丸穴の上にくるように、テーブルに板を配置してください。
5.板の穴を通して糸ノコ刃を取り付け、糸ノコ刃の張り具合を調整してください。
6.中抜きを終えたら、ブレードホルダーから糸ノコ刃を取り外し、テーブルから板を取り除いてください。

毎回使用する前に

糸ノコ盤の確認

「糸ノコ盤のプラグを抜いてください」。各設定の変更や、カバー、ガード、糸ノコ刃の取り外しは、偶発的な始動に伴う怪我を防止するために、必ずスイッチを押して"OFF"にし、プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

切断材料の確認

切断される材料の一部に釘や異物が含まれていないかどうか確認してください。
大型の材料や、非常に小さな材料、扱いにくい材料については、細心の注意を払ってください。

・手で持てないような小さな材料を切断する目的に、この工具を絶対に使用しないでください。
・机上では支えきれない場合に傾くほど大きな切断材料については、特別な支え（テーブル、木びき台、ブロックなど）を使用してください。
・テーブル延長の代用としてや、切断材料の補助的な支えとして、あるいは切断材料を送り出したり、支えたり、引っ張るために、第三者を利用しては「絶対」にいけません。
・形の不ぞろいな切断材料を切断する場合は、糸ノコ刃がくいこまないように、作業してください。例えば、鋳造物は平らに置いて、切断中にねじれたり、振動したり、滑ったりしないように取り付け具やジグで支えてください。
・木釘や管類のような円筒状の切断材料はしっかりと支えてください。こうした材料は切断中に回転する傾向があり、糸ノコ刃の"食い込み"を生じる原因となります。これを防止するために、必ずVブロックを使用してください。
・一度に1つの切断材料だけを切断するようにしてください。
・切断材料と関連サポート装置を除くすべての物をテーブルの上から片づけてから、糸ノコ盤の電源を入れてください。

詰まった材料を取り除く前に

・スイッチを押して"OFF"にします。
・すべての可動部分が停止するのを待ちます。
・糸ノコ盤のプラグを抜きます。

毎回使用する前に

切断材料を引き抜く前に、糸ノコ刃が切り口（切断面）に挟まることがあります。これは通常、切り口に切りくずが詰まっているために起こります。これが起こった場合には、次のようにしてください。

・スイッチを押して"OFF"にします。
・すべての可動部分が停止するのを待ちます。
・糸ノコ盤のプラグを抜きます。
・ブレードホルダーから糸ノコ刃を取り外してください。
・糸ノコ刃の付いた切断材料をテーブルから取り外します。切断材料から糸ノコ刃を取り外してください。

保守・点検について

⚠警告

糸ノコ盤の保守や注油は、安全のために、スイッチを押して"OFF"にし、プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

全般

・時々、作業テーブルにワックスを塗布すると材料がスムーズに作業面を滑るようになります。

モータ

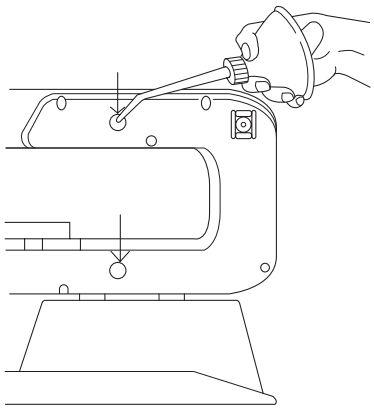
・電源コードが磨耗したり、切断したり、あるいは損傷した場合は、ただちに交換してください。
・モータ・ベアリングに注油したり、モータ内部部品の修理はお止めください。

注油について

・使用時間、10時間ごとにアームやベアリングに注油を行ってください。

ベアリングに注油する方法

1.糸ノコ盤を一方の側に傾けてください。
2.図の矢印の位置2箇所に適量のオイル（SAE20相当）を注油してください。
3.このままの状態で、オイルを一晩しみ込ませてください。
4.翌日、糸ノコ盤のもう一方の2箇所に、上記の手順で注油してください。



保守・点検について

故障診断

⚠警告
故障診断は、スイッチを"OFF"にし、必ず電源からプラグを抜いてから行ってください。

現象	原因	処置方法
糸ノコ刃が折れる	1.張り具合が不適当。 2.糸ノコ刃が寿命に達している。 3.使用する糸ノコ刃の選定を誤っている。 4.木材の中で糸ノコ刃がねじれている。 5.刃数が不適当。	1.糸ノコ刃の張り具合を調整する。 2.糸ノコ刃を交換する。 3.薄物の木材の切断には巾の狭い糸ノコ刃、比較的厚物の木材の切断には巾の広い糸ノコ刃を使用する。 4糸ノコ刃の側面に加わる圧力を調整する。 5.最低でも切断材料に糸ノコ刃の刃が3つは接触するようにする。
モータが動かない	1.コードまたはプラグ不良 2.モータ不良 3.配線不良	1.不良部品を交換してから、糸ノコ盤を再始動する。 2.お買い求めの販売店または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。 3.お買い求めの販売店または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
振動が激しい 注 ・モータが動いているため、糸ノコ盤が作動中は常に振動が多少あります。	1.糸ノコ盤の設置が確実に行われていない。 2.取り付け面が不適当。 3.テーブルがしっかり固定されていない。あるいは、テーブルがモータに寄り掛かっている。 4.モータがしっかり固定されていない。	1."作業台への糸ノコ盤の取り付け"を参照。 2.作業台が重いほど、発生する振動は少なくなります。 合板の作業台は、同サイズの固いしっかりした木材の作業台の作業面より劣ります。 常識的な判断のもと、作業台を選定してください。 3.テーブル固定ノブを締める。 4.モータ取り付けネジを締める。

ご修理の際は

・修理はご自分でなさらないで必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）